



Infectious Diseases Weekly Report City of Kita

感染症発生動向調査／東京都北区感染症週報

2013年26-27週（平成25年6月24日～平成25年7月7日）

東京都北区感染症情報センター 電話 03 (3919) 3102

東京都北区では、東京都北区感染症発生動向事業実施要綱を定め、感染症法に基づく感染症の情報の収集、整理、分析及び情報の公開等を行っています。

東京都北区感染症週報では、感染症発生動向事業に基づき最新の感染症情報を公開しています。

東京都及び厚生労働省による集計分については下記のインターネットのホームページでご覧になれます。

○東京都感染症情報センターのホームページアドレス

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/weekly/index-j/>

○厚生労働省／国立感染症研究所感染症情報センターのホームページアドレス

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr-dl.html>

I 感染症別報告数（週別推移）

1.全数把握対象感染症

対象疾患	2012年	2013年							累計
	累計	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週	
(二類感染症) 結核	122	1	0	4	7	3	3	2	57
(三類感染症)	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	4	0	0	0	0	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	5	0	1	0	0	1	0	0
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
(四類感染症)	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	E型肝炎	1	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	0
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	1	0	1	0	0	0	0	0
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
(五類感染症) 全数報告	アメーバ赤痢	3	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	3	0	0	0	0	0	0	0
	ジルアアジア症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	1	0	0	0	0	0	0	0
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	風しん	9	3	2	0	2	4	2	3
	麻しん	1	0	0	0	0	0	0	0

2.定点把握対象感染症（月報告）（五類感染症）

対象疾患	定点医療機関数	2012年			2013年				
		10月報告数	11月報告数	12月報告数	1月報告数	2月報告数	3月報告数	4月報告数	5月報告数
性器クラミジア感染症	1	1	0	0	0	1	0	0	1
性器ヘルペスウイルス感染症	1	0	0	0	0	0	0	0	0
尖圭コンジローマ	1	2	3	2	0	1	0	0	3
淋病感染症	1	0	0	0	0	0	0	0	0
トリコモナス症(注)	1	0	0	0	0	0	0	0	0
梅毒様疾患(注)	1	0	0	0	0	0	0	0	0

(注3) トリコモナス症、梅毒様疾患は東京都が独自に指定する疾患。

3. 定点把握対象感染症(週報告) (五類感染症)

対象疾患	定点 医療 機関数	2013年							
		24週		25週		26週		27週	
		報告数	報告数 ／ 定点	報告数	報告数 ／ 定点	報告数	報告数 ／ 定点	報告数	報告数 ／ 定点
RSウイルス感染症	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱	7	2	0.29	2	0.29	7	1.00	3	0.43
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	13	1.86	10	1.43	9	1.29	4	0.57
感染性胃腸炎	7	25	3.57	37	5.29	18	2.57	23	3.29
水痘	7	1	0.14	12	1.71	7	1.00	5	0.71
手足口病	7	10	1.43	17	2.43	35	5.00	59	8.43
伝染性紅斑	7	3	0.43	1	0.14	2	0.29	2	0.29
突発性発しん	7	4	0.57	4	0.57	4	0.57	7	1.00
百日咳	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	7	1	0.14	4	0.57	3	0.43	7	1.00
流行性耳下腺炎	7	1	0.14	3	0.43	3	0.43	2	0.29
川崎病(注1)	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
不明発しん症(注1)	7	1	0.14	0	0.00	0	0.00	0	0.00
インフルエンザ(注2)	11	1	0.09	0	0.00	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	1	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎	1	1	1.00	1	1.00	1	1.00	0	0.00

(注1) 不明発しん症、川崎病は東京都が独自に指定する疾患。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

II 概況

■ 全数報告感染症

第26週、結核3件、風しん2件、第27週、結核2件、風しん3件の届出あり。その他の感染症の発生の届出はなし。

■ 風しん

都内では昨年7月より患者の報告数が急増しており、2013年になっても流行は持続しています。北区では第26週2件、第27週に3件の新たな届出があり、2013年の累計は50件となり、昨年までの年間総数を大きく超え、感染が拡大しています。

(※北区の年間総数 2010年1件、2011年0件、2012年9件) とくに、20～40歳の男性の比率が高くなっています。

妊婦への感染には特に注意してください。

● 東京都プレス発表 <http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2013/02/20n27500.htm>

● 風しんの発生状況(東京都2013年) <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/rubella/rubella/>

■ 感染性胃腸炎

北区では、第26週2.57、第27週3.29と依然、感染は継続しています。

例年の傾向から今後も増減を繰り返すものと思われます。

引き続き、家庭、学校及び施設等並びに食品を扱う方は特に手洗い等の感染予防対策を万全を期してください。

● 感染性胃腸炎の予防対策 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/620/062005.htm>

■ 手足口病

手足口病の感染が、第26週5.00、第27週8.43と急激に拡大しています。毎年夏にかけて、流行が拡大する感染症で、今後の動向に注意が必要です。

■ その他の定点感染症

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び水痘等の発生がみとめられます。その他感染症の発生は報告されていますが、特異な発生とはなっていません。

III 医療機関からのコメント

■ (王子地区) 夏かぜ(手足口病)がだいぶ増加しました。(第26週)

■ (王子地区) 例年と比べ、ヘルパンギーナの発生が少なく、手足口病が本格的に流行しています。(第27週)

■ (王子地区) 手足口病が多いようです。(第27週)

IV 注意情報・お知らせ

■ 都内における風しんの流行について

2012年1月より近畿地方にて患者の報告数が増加していました。都内でも7月より患者数が急増しており、2013年になっても流行は持続しています。東京都では、これまでにない規模の風しん流行が継続してる旨の注意喚起を行いました。妊婦への感染には特に注意してください。

● 東京都プレス発表 <http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2013/02/20n27500.htm>

● 風しんの発生状況(東京都2013年) <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/rubella/rubella/>

■ 鳥インフルエンザ(H7N9)

鳥インフルエンザ(H7N9)を指定感染症として定める等の政令等が平成25年4月26日に公布されました。

現在、中国で流行している鳥インフルエンザ(H7N9)を指定感染症として位置づけがされることで、国内での防疫体制が強化されます。

● 健発0426第19号通知 <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryō/kansen/H7N9tsuuchi.files/tori1.pdf>

■感染症法の改正

感染症法（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）の施行令の一部改正が平成25年2月22日に公布され、3月4日より施行されました。新たに、重症熱性血小板減少症候群（病原体がレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。）が四類感染症に指定されました。

また、施行規則の改正が行われ、届出基準及び届出様式の一部が改正され4月1日より施行されます。

●厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou11/01.html>

■麻しん

国では、麻しんに関する特定感染症予防指針を改正し、平成27年度までに麻しんの排除を達成する目標を掲げ、2013年4月1日より適用されることとなりました。

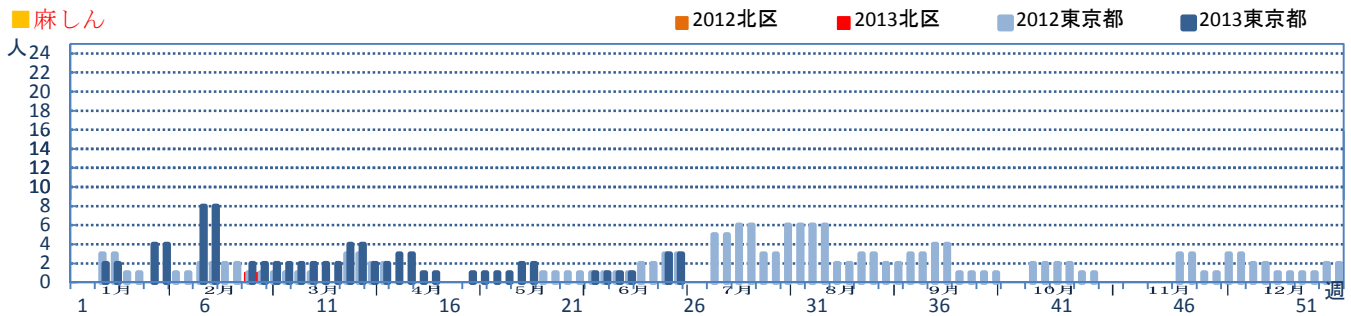
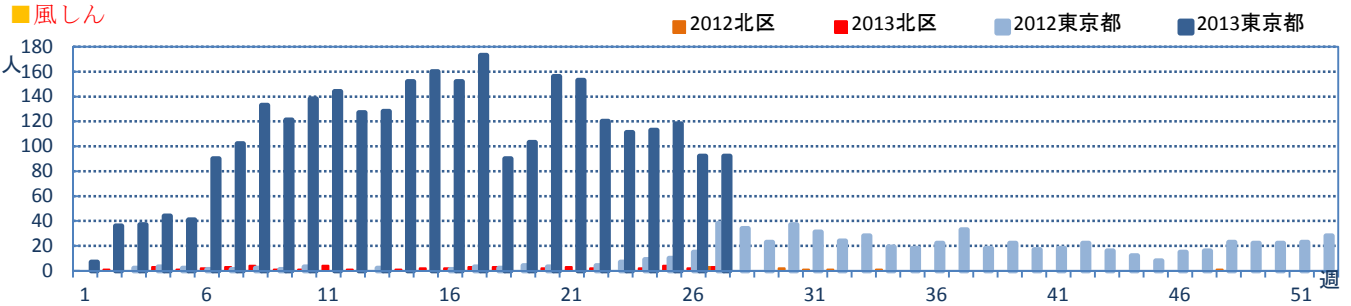
麻しんの定期予防接種の対象者で未接種の方は、できるだけ早くワクチン接種を受けましょう。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

●予防接種一覧 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/167/016751.htm>

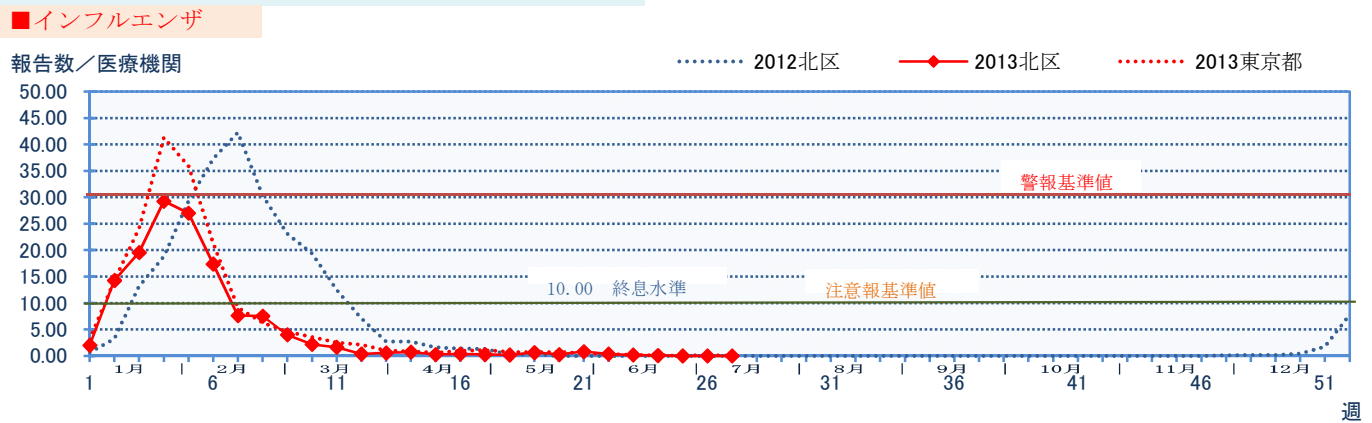
●麻しんに関する特定感染症予防指針 <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002jsve-att/2r9852000002jsyl.pdf>

V 感染症別グラフ

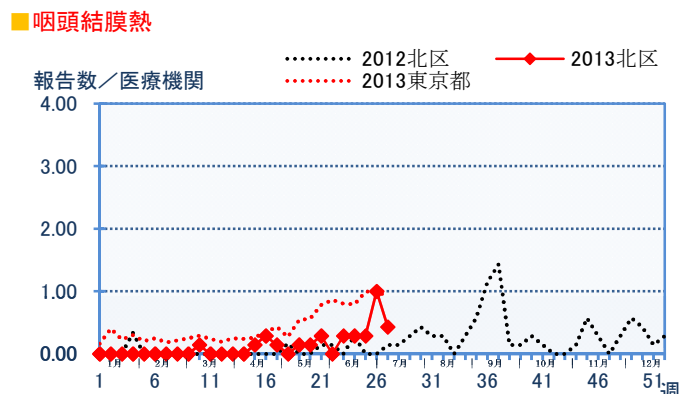
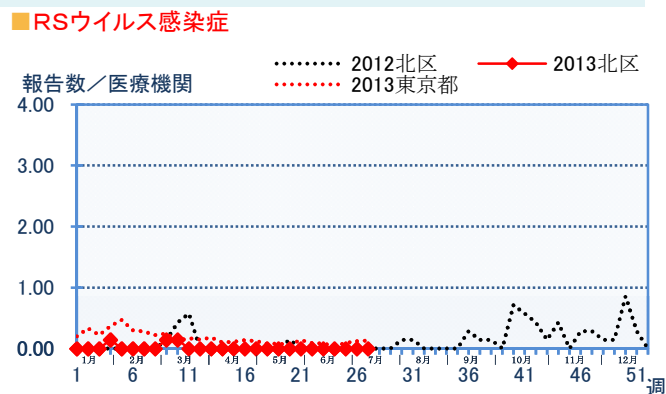
1.全数把握対象感染症



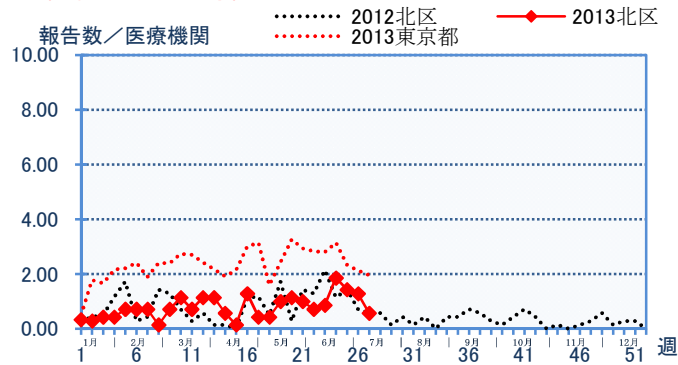
2.定点把握対象感染症(週報告) 内科定点



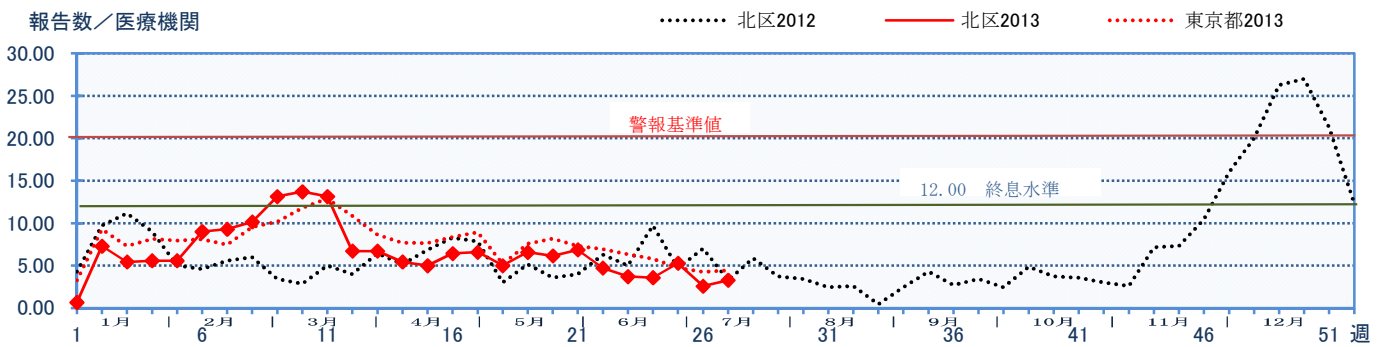
3.定点把握対象感染症(週報告) 小児科定点



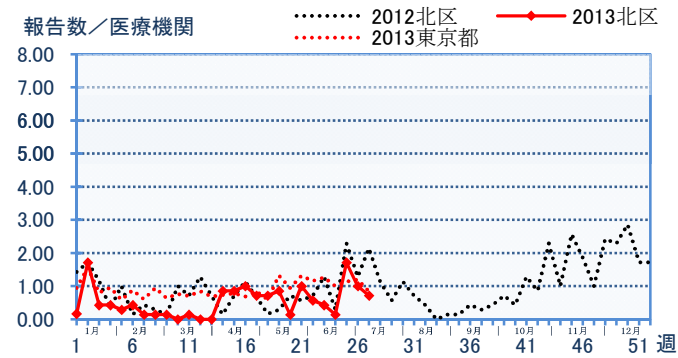
■ A群溶血性レンサ球菌



■ 感染症胃腸炎



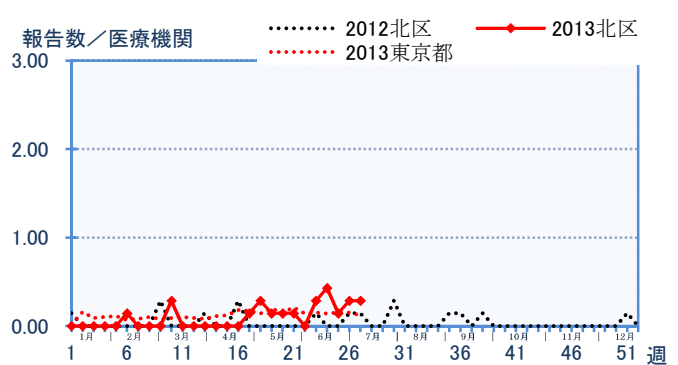
■ 水痘



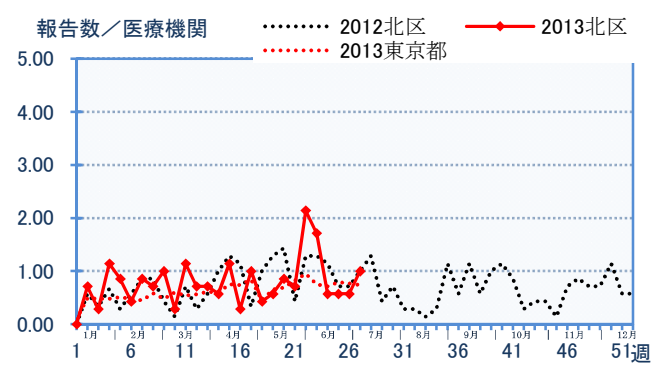
■ 手足口病



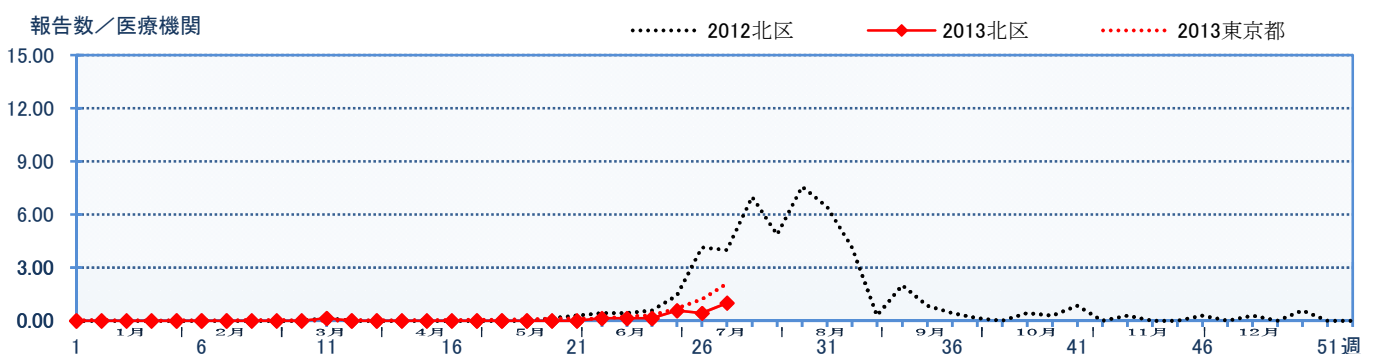
■ 伝染性紅斑



■ 突発性発しん



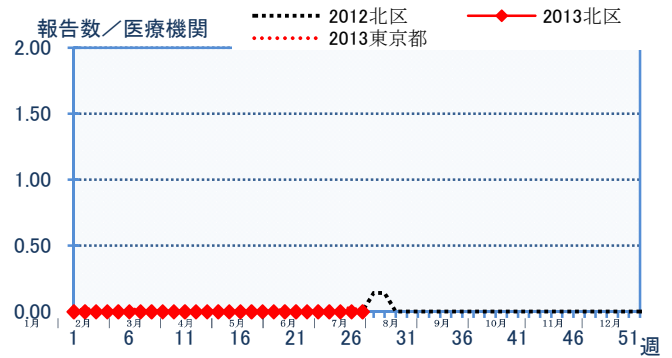
■ ヘルパンギーナ



■流行性耳下腺炎

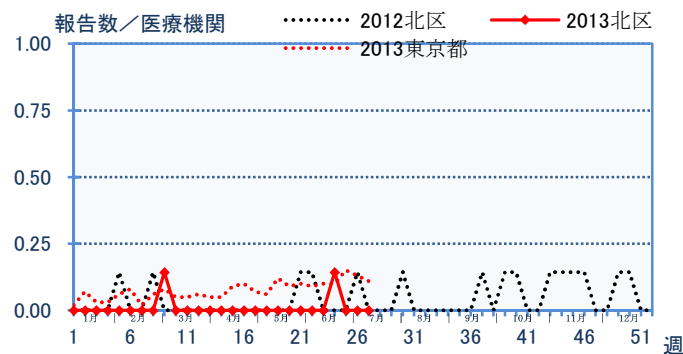


■百日咳

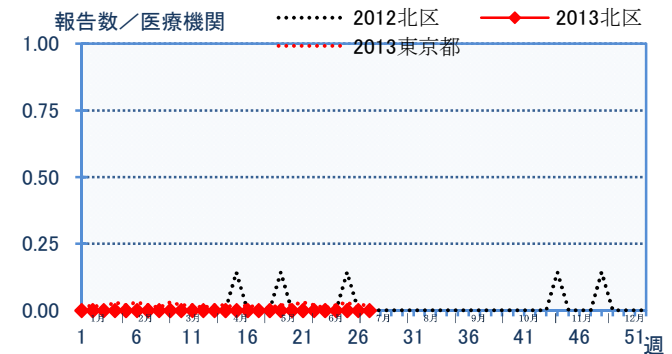


4.東京都独自指定疾患

■不明発しん症

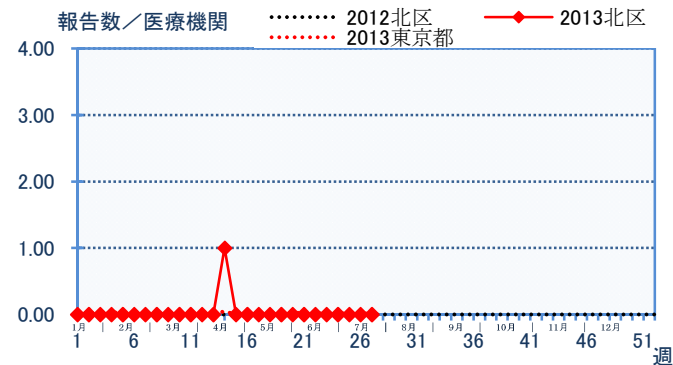


■川崎病

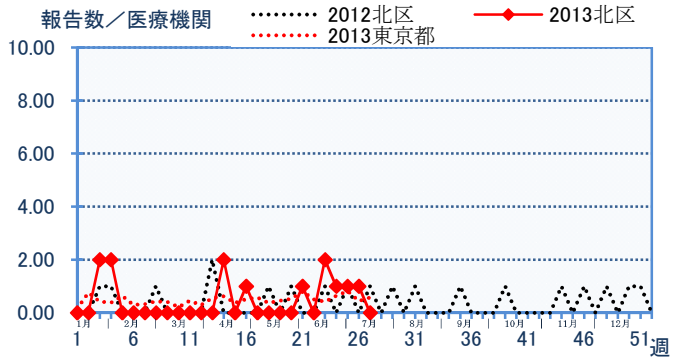


5.定点把握対象感染症(週別) 眼科定点

■急性出血性結膜炎



■流行性角結膜炎



6.定点把握対象感染症(月報告) 性感染症

定点報告感染症のうち、月報告の感染症である以下の性感染症については、該当月の結果は翌月始めに報告されるため、前月までの結果を掲載しています。
 ※2013年6月分は2013年第27週にて公開予定です。

■性感染症

